

新年明けましておめでとございます。皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げますと共に、弊紙への変わらぬご愛顧をよろしくお願い致します。

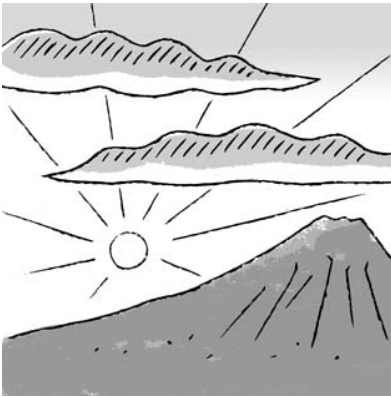
本年は倫理運動の創始者・丸山敏雄の「生誕一二〇年記念事業」がスタートします。その一環として「生誕一二〇年記念ブックフェア」と銘打った企画が、この一月より始まりました。改めて創始者に注目し、その魂に触れることは、倫理運動を推し進める私たちにとって欠かすことのできない原点であるといえます。これを契機として、純粹倫理の原典である創始者の著作物に目を通す習慣をつけたいものです。

なお、書籍を購入された方全員には、素敵なプレゼントが用意されています。

年が改まり、早くも平成二十四年度の三分の一が経過しました。今月から倫理経営講演会が全国六七九カ所で開催される運びです。本年度は「朝に活路あり」「易不易」という二つのテーマのもとで、倫理経営の理解者と倫理運動への賛同者を入会に導く「が同講演会開催の大きな趣意です。積極的に未会員（経営者）へ呼びかけていただき、倫理法人会活動を地域社会にアピールしていきましょう。

本年度の普及目標数は七万二五〇〇社です。各県・単位法人会においても「倫理経営講演会」を会員普及の大きな行事と位置づけると同時に、前後に諸行事を企画し目標達成を図ってくださるようお願い申し上げます。ちなみに、丸山敏雄は明治二十五年に誕生

創始者生誕 120 年 希望の明日を切り拓く



絵・わたなべじゅんじ

し、その干支は「壬辰（みずのえたつ）」で本年と同じです。この干支の人は「隠竜」といわれ、天才でありながら人目に立たないことが多く、幸運と知識を持ちながら世に出ることなく終わりがやすい。何事においても、人の上に立つ能力を持ちながら、人の上に立つことを好まず、負けず嫌いで思うことをすぐ実行するタイプの人である」といわれています。

また創始者が好んだ言葉に、「雲從龍風從虎」（雲は龍に従い、風は虎に従う・『易経』）があります。龍が天に昇る時は雲が起こって龍に従い、虎が動く時は風が起こって虎に従うとの意味です。人が断固として起てば、周りの人々や環境はみな応援してくれるものであるというものです。倫理経営講演会の動員目標や本年度掲げられた普及目標を初志貫徹することによって、応援者が現われて達成へ向けた風が湧き起こるのです。

丸山敏秋理事長は、平成二十四年度倫理研究所事業方針において、創設の精神に立脚した「地球倫理の推進」および「日本創生」という二つの目標理念を掲げました。あわせて、三月十一日に発生した一連の大災害への鎮魂を胸に、「たましいに響く実践・普及に挑む」を基本方針とした諸事業を力強く展開していくと述べています。

全国倫理法人会は、本年度の方針をそのまま受け、日本創生 企業に倫理を 職場に心を 家庭に愛を 希望の明日を切り拓こう」をスローガンとしています。新年からエンジン全開、年度目標に向かって良きスタートダッシュを切りましょう！